

今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】



KAWASAKI CITY



平成28年6月6日（月）～平成28年6月12日（日）〔平成28年第23週〕の感染症発生状況

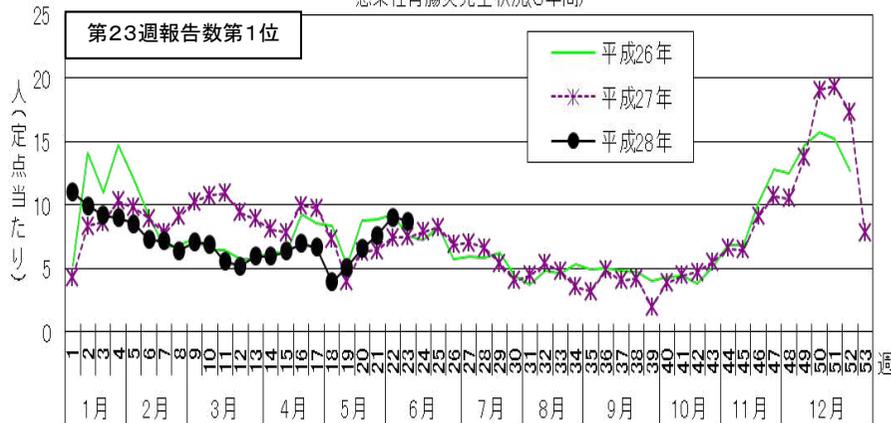
第23週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1) 感染性胃腸炎 2) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 3) 流行性角結膜炎でした。

感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は8.73人と前週（9.05人）から横ばいで、例年並みのレベルで推移しています。

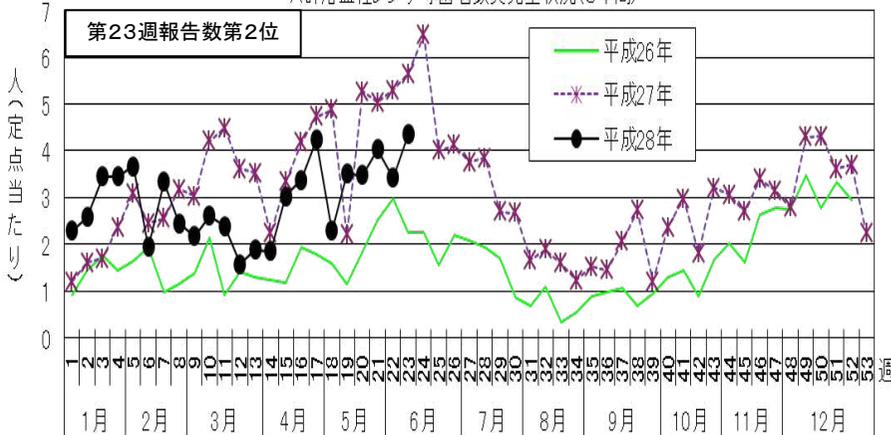
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は4.35人と前週（3.43人）からやや増加し、例年並みのレベルで推移しています。

流行性角結膜炎の定点当たり患者報告数は1.89人と前週（1.33人）から増加し、かなり高いレベルで推移しています。

感染性胃腸炎発生状況(3年間)



A群溶血性レンサ球菌咽頭炎発生状況(3年間)



これから増える感染症～手足口病・ヘルパンギーナ～

例年、夏に向けて「手足口病」や「ヘルパンギーナ」などが流行します。いずれもコクサッキーウイルスA6、A16やエンテロウイルス71などを原因とし、一度感染しても別のウイルスに再び感染することもあります。5歳以下の小児がほとんどで、典型的な症状は以下のとおりです。

手足口病の症状

- 手のひら、足のうら、口の中などに水疱性の発疹
 - 発熱（38℃以下のことが多い）
 - 通常は軽症
- ※まれに重症化して髄膜炎や脳炎などを引き起こすことがある。

ヘルパンギーナの症状

- 突然の高熱（38～40℃）
 - 咽頭痛（のどの痛み）、のどに白い水疱性の発疹や潰瘍
 - 通常は2～4日程度で解熱し、予後良好
- ※発熱に伴う熱性けいれんやまれに髄膜炎、心筋炎などを併発することがある。



口の中の水疱が痛くて十分に水分が摂れず、**脱水症状**を起こすことがあります。こまめな**水分補給**が重要です。



症状回復後も長期（約1ヶ月）にわたりウイルスが排出されるので、トイレやおむつ交換の後は**手洗いや手指の消毒**を心がけましょう。

